

社会的養護関係施設第三者評価事業
評価結果入力シートの入力・提出要領
 <<平成27年度以降>>

- 貴機関が実施した第三者評価を公表するにあたり、「評価結果入力シート」(Microsoft Excel 形式)に**必要事項を入力し提出**いただきます。
- 「評価結果入力シート」は、本会 WEB ページの公表システムに対応した様式・設定となっておりますので、**必ず当該シートにより評価結果をご提出**ください。
- 記入漏れなどが無いよう以下の事項をお読みいただき、作成してください。
 ※入力要領のとおり、ご入力・提出いただけない場合、本会ホームページ掲載用にデータを変換する際にエラーが生じるなど、掲載にお時間をいただくこととなりますのでご留意ください。

★「評価結果入力シート」は、本会の WEB ページからダウンロードできます。

<<ダウンロード>>「福祉サービス第三者評価事業」WEB ページ

<http://shakyo-hyouka.net/>

◎トップページ 「評価機関のみなさま」

⇒「社会的養護施設第三者評価 評価機関・評価者について」

○全国認証を受けた第三者評価機関のみなさまへ

■評価結果の報告（公表手続き）

「評価結果入力シート」

★「評価結果入力シート」(Microsoft Excel 形式)の構成について

平成 27 年度以降の評価結果入力シートの Excel ファイルについては、評価機関での各種資料の作成等にご活用いただけるよう入力シートのコピーが自動で作成される設定としております。

◆【シート A 評価結果入力シート】⇒このシートに入力してください。

※公表システムに対応するシートのためシートの保護(ロック)が設定されています。

⇒必要事項の入力のみ可能としてあり、評価機関での行・列や項目の削除や編集・加工等はできません。

◆【シート B 評価結果シート・コピー】⇒シート A に入力した内容が自動で反映されます。

※シートの保護(ロック)は設定されていません。

⇒編集・加工ができますので、各種資料の作成等にご利用ください。

*シート B に入力した内容はシート A に反映されません。シート A への入力を完了した後に、シート B を編集・加工するようにしてください。

《評価結果の作成・入力》

1. 第三者評価結果の作成・入力にあたって

○厚生労働省通知「社会的養護関係施設における第三者評価及び自己評価の実施について」
(平成 27 年 2 月 17 日)により、平成 27 年度からの第三者評価における評価基準や
公表事項の改定が行われています。

《通知改定にともなう公表事項の主な改定内容》

- ①第三者評価機関名に加え「評価調査者研修修了番号」(評価を担当した評価調査者)を記載する欄の追加
：評価を担当した評価調査者を明示します。研修(全国推進組織の研修、又は都道府県推進組織の研修)の修了番号のみとし、氏名等は記載しません。
- ②施設情報の充実
：受審施設・事業所の職員数(常勤職員、非常勤職員)、専門職員の人数や施設・設備の概要等を記載します。
- ③理念・基本方針及び、施設の特徴的な取組を記載する欄の追加
：受審施設・事業所の理念・基本方針を明示するとともに、評価項目(総評や評価細目ごとのコメント)には記載されない事項を含め、施設の特徴的な取組を自由に記載します。これにより受審施設・事業所のPRがはかれることを目的としています。記載内容については、受審施設・事業所と相談しながら、評価機関が記載します。
- ④受審回数(前回の受審時期)を記載する欄の追加
：第三者評価の受審回数(平成 24 年度の受審義務化以前の受審を含む)とともに、前回(直近)の受審時期を記載します。
- ⑤第三者評価結果については、評価細目毎にコメント記載する様式に変更
：評価細目毎にコメントを記載することにより、評点の根拠となる事項を記載し、受審施設・事業所における福祉サービスの質の向上により資する評価結果とします。

評価結果の作成と提出にあたって

○第三者評価結果の作成にあたっては、『社会的養護関係施設第三者評価実践マニュアル【Version.1】』（平成27年2月、社会福祉法人全国社会福祉協議会 福祉サービスの質の向上推進委員会、主にp115～118）を参照してください。

★受審施設との合意等により確定した評価結果については、原則として本会では修正を行わず、ご提出いただいた内容で公表します。評価結果報告書の作成にあたっては、以下の事項に留意し、評価機関としての確認のもとに本会に提出してください。

- ✓ **公表事項とされる全ての項目について記載してください。**
 - ・ 評価機関独自の判断で評価しない項目等を設けることはできません（通知において判断基準に「非該当」が設定されている項目を除く）。
- ✓ **読みやすい(伝わりやすい)コメントとなるように配慮・工夫してください。**
 - ・ 総評や評価細目ごとのコメントについては、文章の量とバランスに留意し、見出しをつける等読みやすい記載となるよう工夫をしてください。
 - ・ 評価細目ごとにコメントをつける様式となりますので、評価結果報告書全体のバランスにも配慮してください。長文や専門用語等の多用とならないよう留意して作成してください。
 - ・ 評価細目ごとのコメントは、判断基準(a・b・c)の根拠となるように留意して作成してください。
- ✓ **プライバシーに配慮し、匿名性等を担保してください。**
 - ・ 利用者や職員の氏名、個人を特定できる表現等がコメントに含まれることのないように留意してください。
- ✓ **誤字・脱字等を確認してください。**
 - ・ 評価機関において誤字・脱字や適切な表現となっているか等を確認して提出してください。
- ✓ **平成27年度以降の評価結果については、必ず新たな入力フォームで提出してください。**
 - ・ 平成27年度以降は改定後の評価基準により第三者評価を実施し、評価結果は新たな（平成26年度までの様式ではない）「評価結果入力シート」(Microsoft Excel 形式)により提出ください。

3. 第三者評価結果入力シート（別添・各施設種別ごと）の留意事項

- 評価結果入力シートにある項目については、特に説明が付されている場合を除き公表事項にかかわる全ての項目に必要な事項を入力してください。
- 「①第三者評価機関名」、「②評価調査者研修修了番号」、「③施設名等」、「④理念・基本方針」、「⑤施設の特徴的な取組」、「⑥第三者評価の受審状況」、「⑦総評」、「⑧第三者評価結果に対する施設のコメント」については、文字入力してください。
- 「⑨第三者評価結果（別紙）」における各評価項目の「判断基準」（a・b・c）及び「評価の着眼点」の入力欄は、全てプルダウンで選択肢が設定されています。評価の際にチェックをした着眼点には、「○」を記入（選択）してください。

★全ての評価細目について「a,b,c」のいずれかを選択し、評価細目ごとにコメントを記入してください。

★評価機関独自の判断で評価しない項目等を設けることはできません。

※「評価の着眼点」の欄においては、プルダウンの設定は「○」のみ設定されています。着眼点は公表対象外となっており入力には任意ですが、判断基準と着眼点の関係性の分析など今後の評価基準の見直し等に活用するものですので、記入にご協力ください。

- 文字入力にあたり、英数字の入力は半角でお願いします。
- 行・列の挿入や削除は行わないでください。 本会ホームページ掲載用にデータを変換する際にエラーが生じますので、ご留意ください。
- 文字入力にあたっての字数制限は設けておりません。 ただし、評価結果を読む方々に配慮し、適切な分量と全体のバランスに配慮して記載してください。
- 「総評」及び、評価細目ごとの「コメント」の記載にあたっては、見出しをつけるなど読みやすい記載となるようにしてください。

4. 各記載・入力項目の留意事項

①第三者評価機関名

- 本会が認証している（認証通知書に記載、WEB ページで公表している）評価機関名でお書きください。

②評価調査者研修修了番号

- 当該第三者評価を担当した全ての評価調査者について、研修修了番号等を記載してください。
- 氏名は不要です。研修修了番号のみ記載してください。

《記載する研修修了番号の例》

H26 年度（平成 27 年 2 月）以降に本会が開催した 評価調査者「継続研修」	SK15●●●●
H26 年度（平成 27 年 2 月）以降に本会が開催した 評価調査者「養成研修」	S15●●●●
H24 年度・25 年度に本会が開催した「養成研修」	S24●●●●／S25●●●●
都道府県推進組織が行う養成研修等	都道府県推進組織が発 行する修了（者）番号

③施設名等

- 『所在地』は「都道府県」と「都道府県以下」で記入します。公表は「都道府県」までとします。

例）東京都千代田区霞が関 3-3-2

所在地（都道府県名）東京都 ←公表

所在地（市町村）千代田区霞が関 3-3-2 ←非公表

- 『電話番号』は公表しませんが、必ず入力してください。
- 各施設のホームページ等の『URL』は施設と確認の上、公表してよい場合は入力してください。
※施設がホームページを開設していない場合は、記入不要です。
(本会 WEB ページの公表画面では空欄で表示されます。)

- 施設の『開設年月日』については、西暦で入力してください。 例 2015/7/10
- 『専門職の名称』については、1 職種を 1 つの欄に入力してください。その上で直下の欄に当該職種の人数を入力してください。

④理念・基本方針

- 見出しをつけて理念と基本方針を必要に応じて書き分けてください。

例)

【理念】・・・・・・・・

【基本方針】・・・・・・・・

⑤施設の特徴的な取組

- 受審施設と相談・確認しながら施設の取組のPRとなるように、また、見出しをつけるなど読みやすい記載となるように配慮・工夫してください。

⑥第三評価の受審状況

- 西暦で入力してください。 例 2015/8/22
- 『評価実施期間（イ）調査結果確定日』には、調査結果について受審施設が合意（確認）し確定した日付を記入してください。
- 『受審回数』には、平成 24 年度の受審義務化以前の受審を含めた受審回数の合計を記載してください。今回の受審は含みません。
- 『前回の受審時期』には、前回（直近）の受審時期を記載してください。

⑦総評

- 見出しをつけるなど読みやすい記載となるようにしてください。
- 「第三者評価結果の公表事項」に定められる「特に評価が高い点」「改善が求められる点」以外の項目立てをしていただいても構いません。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

- 受審施設から評価結果に対するコメントをいただき、入力してください。

⑨第三者評価結果

- 全ての評価細目について「a,b,c」のいずれかを選択してください（情緒障害児短期治療施設及び、児童自立支援施設には一部「非該当」が選択できる評価細目があります。）
- 評価細目ごとにコメントを必ず記入してください。

5. 評価結果の送付（提出）

★送付（提出）の際には、ファイル名は、『施設名』に変更してください。施設種別※の表記は不要です。

※施設種別…児童養護施設、乳児院、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設

例)「児童養護施設 ○○養護園」の評価結果の入力

ファイル名「評価結果入力シート1【児童養護施設】2015ver1」
⇒ファイル名「○○養護園」に変更

➤ 全国社会福祉協議会 政策企画部宛に電子メールでお送りください。

評価結果専用 E-mail : z-hyoka@shakyo.or.jp

➤ 電子メールに「評価結果入力シート」（ファイル名を「施設名」に変更し評価結果を入力したもの）を添付し、送信してください。

➤ 電子メールの件名は「第三者評価結果の送付（※施設名）」としてください。

*「件名」の統一について

各評価機関からのお問い合わせ等と分類するため、評価結果をお送りいただきます際の、Eメール：件名の統一にご協力ください。

※記入例

①評価結果 1 件を添付する場合

⇒ 第三者評価結果の送付（○○園）

②評価結果を 2 件以上添付する場合

⇒ 第三者評価結果の送付（○○園、○○乳児院…）

【お問い合わせ先・評価結果の送付先】

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 政策企画部

電話 03-3581-7889 ファックス 03-3580-5721

評価結果専用 E-mail z-hyoka@shakyo.or.jp